

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↘ 1,543	1,628	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	→ 21	21	ヘルパンギーナ	↗ 7	6
咽頭結膜熱	↗ 35	13	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 4	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 110	104	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 745	589	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 21	19
水痘	↗ 57	34	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 58	30	無菌性髄膜炎	→ 1	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 2	1	マイコプラズマ肺炎	↘ 0	1
突発性発しん	↘ 25	27	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↘ 5	6

**報告が多い感染症**

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

咽頭結膜熱 : 菊池  
 感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、有明  
 インフルエンザ : 熊本市、山鹿、菊池、八代、人吉、有明、宇城、天草

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	411	1	4	43	218	6	17	1	10		2	2		18		1			5
山鹿保健所	97				46	8							*	*					
菊池保健所	234	6	14	17	158	8	11		4					1					
阿蘇保健所	63			5	13								*	*					
御船保健所	36				13								*	*					
八代保健所	119	3	4	4	53	3	19	1	2			1							
水俣保健所	41			3	6								*	*					
人吉保健所	152	3		2	28	2	1						*	*					
有明保健所	129	5	4	15	102	15	3		5					1					
宇城保健所	148	1	4	18	71	7	4		2				*	*					
天草保健所	108	2	5	3	37	8	3		2		5	1		1					
計	1,538	21	35	110	745	57	58	2	25		7	4		21		1			5

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	1538	2	21	55	84	80	98	97	92	85	87	63	326	73	49	101	78	62	33	33	19
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	21	8	5	2	4	1							1								
咽頭結膜熱	35		1	18	5		2	3	4	2											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	110	1			4	14	9	24	14	12	4	10	14		4						
感染性胃腸炎	745	4	40	86	81	80	79	69	61	42	45	32	78	9	39						
水痘	57	1	4	11	12	14	9	3	3												
手足口病	58		6	24	12	6	3	4	1		1			1							
伝染性紅斑	2		1				1														
突発性発しん	25		15	10																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	7		1		4	1	1														
流行性耳下腺炎	4				1	1				2											
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	21						1								2	4	4	2	2	4	2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1		1																		
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	1	4																		

県内で麻しん(はしか)の発生がありました



先週1件、今週1件と麻しん患者の報告がありました。県内では2010年5月以来の報告です。2件のうち1件は、海外(フィリピン)で感染したものと考えられます。全国的にも2013年11月下旬以降、麻しん報告数は増加傾向が続いています。2014年1月下旬までは感染地として海外が推定される症例が多く、その後国内感染例の割合が高くなってきています。これは、いったん輸入例として入ってきた麻しんウイルスが、地域によっては国内流行しつつあることが示唆されます。

麻しんは感染力が大変強く、感染すると肺炎や脳炎などの深刻な合併症をおこす場合があり、年齢にかかわらず命に関わる重篤な感染症です。麻しんに特別な治療法はありませんが、予防接種で予防可能な感染症です。定期予防接種対象の方は、今すぐ麻しん風しん予防接種を受けましょう。また、中国、ラオス、フィリピン等の海外の麻しん流行地へ渡航される方は、母子手帳等で予防接種履歴を確認し、予防接種を受けたことがない方は予防接種をご確認ください。

麻しんとは

麻しんウイルスを原因とした感染症です。空気感染のほか、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」、及びウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。麻しんウイルスに感染後、10~12日間の潜伏期間ののちに発熱や咳などの症状で発症します。38℃程度の発熱及びかぜ症状が2~4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。主な症状は、発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血などです。肺炎、脳炎といった重い合併症をおこすこともあります。合併症がなければ、主な症状は7~10日で回復します。治療は対症療法のみです。

麻しんにかかったかな?と思ったら

麻しんは感染力がとて強いので周囲への新たな感染を防ぐためにも、受診前に医療機関へお電話でご相談ください。

医療機関の皆さまへ

麻しんを診断した場合には24時間以内に届け出が必要ですが、また、麻しんが疑われる場合でも原則として全例検査を行います。麻しんを診断した場合、及び麻しんが疑われる場合には最寄りの保健所へご相談ください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供: 熊本県健康福祉部 健康危機管理課